



β

竹田信平
ベータ崩壊

2014.07.26~09.05

原爆の図丸木美術館

埼玉県東松山市下唐子1401
TEL: 0493-22-3266

[開館時間] 午前9時~午後5時
[休館日] 月曜日 (8/1~8/15は無休)

“ベータ崩壊”はバイオレンスの歴史と“個”の記憶の接点、そしてその紡ぎ方を追求するためにメキシコ・オアハカ、サポテカ族の伝統織物の町で2013年から制作を開始したシリーズ作品。織り物の下地になる糸を使ったインスタレーションと共に竹田信平の独特の世界観が提示される。南米北米に住む被爆者の記憶の向き合い方を探求した“アルファ崩壊”に続くアーティスト竹田信平のマルチメディア・プロジェクト。

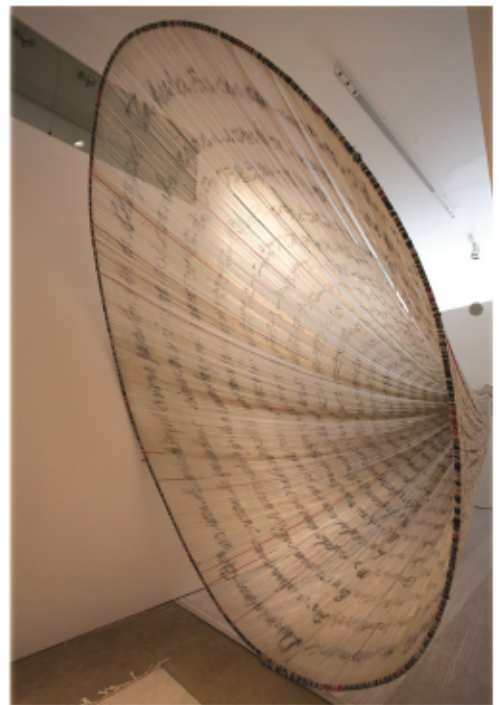
“アルファ崩壊”について 池上善彦（現代思想・前編集長）

この作品の題名である「アルファ崩壊」から直ちに、被爆の本質である内部被爆を今日では誰もが連想するだろう。放射性物質はたとえわずかに微量なものであっても、体内にとどまった場合、その物質はアルファ線をごく短い範囲に放射し続け、やがて周囲の細胞を破壊し、被爆した細胞はさらに周囲へと影響を及ぼし、やがては肉体そのものを破壊するに至るのである。その過程は外からは伺われず、内部で静かに進行する。竹田信平はこのプロセスに躊躇せず、いきなり迫っていく。

被爆者の体験を何とかして理解したいという思いは、さらに彼に被爆者の証言の声そのものに向かわせた。声を聞くということではまだ足りないといわんばかりに、被爆者の声紋を彼はなぞっていくのである。崩壊していく肉体の内部で彼は静かに、しかし筆記具のひっかくような音だけは残して、被爆者の声、いや声という物質をなぞっていく。それはほとんど写経の世界である。内容の理解でもあり、形への折りでもあり行為そのものを見せつけていくのだ。

彼の作品は、驚くべきことに2011年以前に始まったものである。私たちが原爆と原発は同じものであるということを観念ではなく、身にしみて具体的に理解したのは2011年の3月11日以降であって、ようやく原爆の被爆者の証言を理解する手がかりを得ようとしている。彼は被爆者の内へ内へと降りていくことで、また外へ外へとはずれていくことで、そしてそれを同時に行うことで、最も深い理解へと辿りつこうとしていたのだ。

原爆と原発事故というとつものない体験の本質と歴史に、ドキュメントとパフォーマンスで真っ向から肉薄していく竹田信平は、大転換の予兆に満ちた3・11以後の世界観を最も深いところで開示し続ける、希有なアーティストなのである。



①オアハカ市サンパウロ元修道院美術館（2013）

作家プロフィール:

’78年、大阪出身。メキシコとドイツを拠点に、アーティスト／映像作家として主に海外で活動を展開する。映像、写真、彫刻、インスタレーション、パブリックアート、ノイズ音楽等、媒体を超えて記憶と歴史の接点を探求し続ける作家。www.shinpeitakeda.info

“アルファ崩壊”:

記憶の爆心地へ、ティファナからの旅
竹田信平著「現代書館」2014年6月発売

“記憶”から“共鳴”へ—

南北アメリカ大陸に住む被爆者たちの体験を聞き、その記憶の核を自ら感得し、その過程をアートとして刻み表現する。被爆者たちの言葉を内面に受け止め、そして外部に反転し世界に感応させていく旅の過程を一冊の本に。

丸木美術館にて販売

南米現代美術アートの対話
“アルファ崩壊からベータ崩壊へ”

アルファ崩壊のキュレーターであるメキシコ人キュレーターのマルセラ・キロズを交えてアルファ崩壊の原点と共にメキシコ、原爆、アートの関係性に迫る。

8月1日 6:30PM
@エスパニオ・メヒカーノ（メキシコ大使館5F）東京都千代田区永田町2-15-2
TEL:(03) 3581-1131 入場無料

ヒロシマ・ナガサキダウンロード
竹田信平監督の長編ドキュメンタリー映画

2009年春、アメリカ大陸西海岸。ヒロシマ・ナガサキの傷を抱え、元「敵国」で余生を過ごす被爆者たち。人生の岐路に差しかかった青年二人が、彼らを訪ねる旅に出た。旅路の果てに、二人が見つけたものは？核の世界を受け継ぐ世代が綴った、魂のロードムービー(73分、2010年)

7月26日 2:00PM
@丸木美術館 企画展示室

同時開催：はだしのゲン絵本原画展 **チラシを持参の方は、丸木美術館入館料が100円割引になります**

公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

5月5日は開館記念日・8月6日はひろしま忌
[常設展]「原爆の図」連作
「水俣の図」
「南京大虐殺の図」
「アウシュビッツの図」
「水俣・原発・三里塚」
絵本原画、丸木スマ水彩画等

[開館時間] 午前9時～午後5時
[休館日] 月曜日(祝日の場合は翌平日、8/1～15は無休)
[入館料] 大人900円 中高生または18歳未満600円
小学生400円 団体(20名以上)、60歳以上、
チラシ持参者、比企地区在住者100円割引
障(しょうがい)のある方は半額

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401
TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

[URL] http://www.aya.or.jp/~marukimsn/
[Eメール] marukimsn@aya.or.jp

- [交通] ●東武東上線森林公園駅
南口よりタクシー10分、徒歩50分
北口よりレンタサイクル20分
●東武東上線東松山駅・高坂駅より
市内循環バス唐子コース(日祝運休)
「浄空院入口」「丸木美術館北」下車
●関越自動車道
東松山インターより小川方面10分
●東武東上線つきのわ駅南口から徒歩27分、詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい

【市内循環バス唐子コース時刻表】

○丸木美術館行き(日祝運休)

08:05	東松山駅東口	→08:22	浄空院入口
11:12	東松山駅東口	→11:29	浄空院入口
12:07	高坂駅西口	→12:25	丸木美術館北
13:12	東松山駅東口	→13:29	浄空院入口
15:22	高坂駅西口	→15:40	丸木美術館北

※帰りの時刻はお問い合わせ下さい。

